

5領域の指導 ～「言語活動」の再定義を踏まえて～



大城賢
琉球大学教育学部
koshiro@edu.u-ryukyu.ac.jp

- 1 外国語活動と外国語, どこが違うのか。
- 2 目的・場面・状況を明確にした言語活動の充実
- 3 新教材の活用: 言語活動を充実させる3つの活動
例: Small Talk, やり取り, Stories
- 4 「読む, 書く」の指導はどこまでか
- 5 移行期に気を付けるべきことはなにか

教科としての外国語の導入までの経緯

第4段階：2020－
教科としての外国語(英語)5年生, 6年生
外国語活動の必修化 3年生, 4年生



第3段階：2011－2019 外国語活動の必修化
5年生, 6年生(35時間)



第2段階：2002－2010
総合学習の中の英語活動



第1段階：1992－2001 研究開発学校時代

Foreign
Language
Experience
program

外国語活動と外国語

外国語活動	外国語(英語)
3年生, 4年生	5年生, 6年生
領域	教科
教材: Let's try 1 & 2	We can! 1 & 2
1時間/週	2時間/週
聞く, 話す[やり取り], 話す[表現]	聞く, 話す[やり取り], 話す[表現], 読む, 書く
慣れ親しみ 数値評価なし	定着が求められる 数値評価が求められている

目標

外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの**言語活動**を通して、コミュニケーションを図る**素地**となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

素地

外国語

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの**言語活動**を通して、コミュニケーションを図る**基礎**となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

基礎

「外国語活動」及び「外国語」における言語活動

- 外国語活動や外国語科における言語活動は、記録、要約、説明、論述、話し合いといった言語活動よりは基本的なものである。学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。したがって、外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かというところではない。言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。

文部科学省「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」, 2017, p.23

「外国語活動」及び「外国語」における言語活動

実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、情報を整理しながら考えなどを形成するといった「思考力、判断力、表現力等」が活用されると同時に、英語に関する「知識及び技能」が活用される。つまり、英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動は、外国語活動や外国語科においては言語活動とは言い難い。一方で、英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動も言語活動とは言い難い。例えば、発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動は、言語活動ではなく、練習である。練習は、言語活動を成立させるために重要であるが、練習だけで終わることのないように留意する必要がある。

(文部科学省『外国語活動・外国語研修ガイドブック』2017, p.23)

新学習指導要領が求めている言語活動例:

1. Small Talk

2. やり取り

3. 絵本 (Stories) の活用

(input, output and interaction)

スモールトークって何？

1. Small Talk

Small Talkとは、高学年新教材で設定されている活動である。2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、**指導者のまともった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったり**することである。また、5年生は**指導者の話**を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に行う。

Small Talk を行う主な目的は、(1) **既習表現を繰り返し、使用できるようにして、その定着を図ること**、(2) **対話の続け方を指導すること**、の2点である。(文部科学省「外国語活動・外国語研修ガイドブック」p.84)

目的・場面・
状況

学習した英語
を実際に使って
見せる(定着)

未知語であっても場
面の中で推測させて
みる(思考力)

対話の続け方

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手:I went to Tokyo. 自分:(You went to) Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That's good. / That's nice. / Really? / That sounds good. など
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと Pardon? / Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること。 相手:I like fruits. 自分:What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. /You, too. など

(文部科学省「外国語活動・外国語研修ガイドブック」p.84)

小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック

small talk 文部科学省

Small Talk (スモール・トーク) ~小学校外国語活動・外国語 研修ガイ...
mextchannel
18 本の動画

tr.30 Small Talk 5年生 Unit 1
mextchannel
6 か月前・視聴回数 1.3万 回

tr.32 Small Talk 5年生 Unit 3
mextchannel
6 か月前・視聴回数 4,400 回

tr.43 Small Talk 6年生 Unit 5
mextchannel
6 か月前・視聴回数 1,800 回

クラスルーム・イングリッシュ ~小学校外国語活動・外国語 研修ガイ...
mextchannel
13 本の動画

スピーキング・トレーニング ~小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック
mextchannel
11 本の動画

tr.47 Small Talk 6年生 Unit 6

ホーム 急上昇 登録チャンネル アクティビティ ライブラリ

言語活動が学習指導要領を成功に導く鍵。文部科学省は Small Talk の教材を準備している。しかし、それを単に聞かせるだけならリスニングの活動になります。Small Talk はリスニング活動ではなく、先生と生徒が自分の考えや気持ちを伝え合う活動なのです。

教材を聞かせる
だけならリス
ニング活動

実際に、生の英
語を聞かせること
が大切

ALTの先生にやっ
てもらってもよいし、
二人でやってもよ
い

「やり取り」の領域目標

- ア 基本的な表現を用いて**指示, 依頼をしたり, それらに応じたり**することができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について,**自分の考えや気持ちなどを**, 簡単な語句や基本的な表現を用いて**伝え合う**ことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして, **伝え合う**ことができるようにする。

ア～ウに共通していることは、自分で判断して伝えることや自分の考えや気持ちなどを伝えあうことです。つまり、**覚えたものを機械的に言ったりすることではありません。当然、覚えたことを言う訳ではありませんから、児童の発話にはたくさんの音声的、文法的な誤りが含まれています。誤りを恐れてはいけませんが、誤りが定着するのは避けなければなりません。**もちろん、学習段階にあった適切な誤りの修正が必要です。特に小学校の段階では local error は多少甘くみても、global error については、過度にならないように注意しながら、適宜、修正をしていくことが大切です。具体的には児童同士が対話している場面で第三者として聞きながら、**聞き手の関心を示すように児童同士の「やり取り」に介入していくことが求められます。**(大城, 2018)

間違えても
良い

教科になると定
着が求められる

ならば、間違いが定
着しない方法を考え
る必要がある

S1: I like baseball. What sports do you like?

S2: I like basketball. I **can basketball** very well.

T: Oh, S2, you can **play** basketball very well. Good!

S2: Yes, I can play basketball very well.

注意しなくてはならないのは、モチベーションをそがないようにすることである。言語活動をとおして自分の間違いに気づき、新しい表現を覚えていくことこそ学習指導要領の求める主体的、対話的、深い学びに通じるものである。

Use Stories for **interaction** with the students

Unit 1

STORY TIME

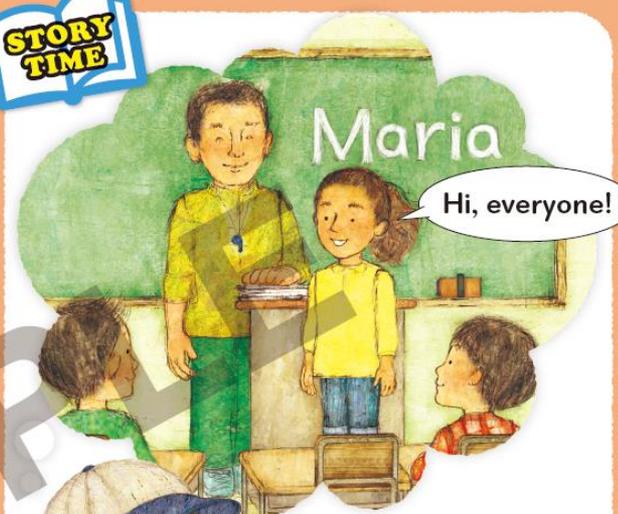


Hi, my name is Kazu.
I like cats and dogs.
I like soccer and baseball.

 9

Unit 2

STORY TIME

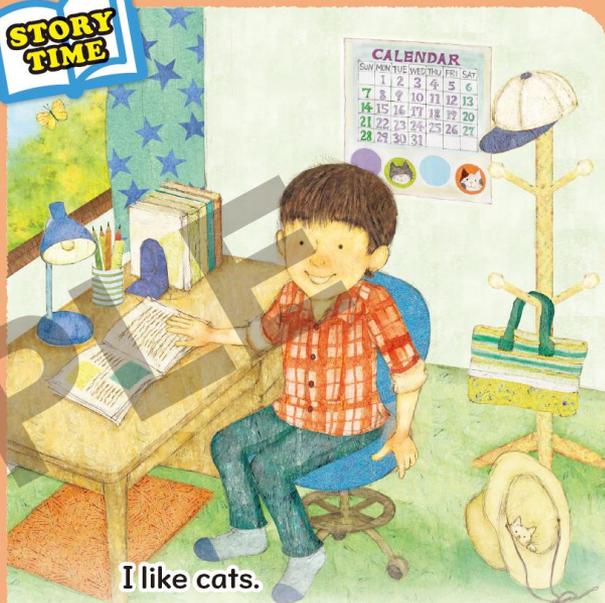


Hi, everyone!



I'm eleven years old.
My birthday is April 8th.
It's a special day today.
We have a new student.

STORY TIME



I like cats.

We have a cat.

His name is Pat.

Where is he?

He is in the hat.

Pat, the cat, is in the hat.

STORY TIME



Oh, this is a nice
kabuki pen.

I love *kabuki*.

How much is it?

90 yen.

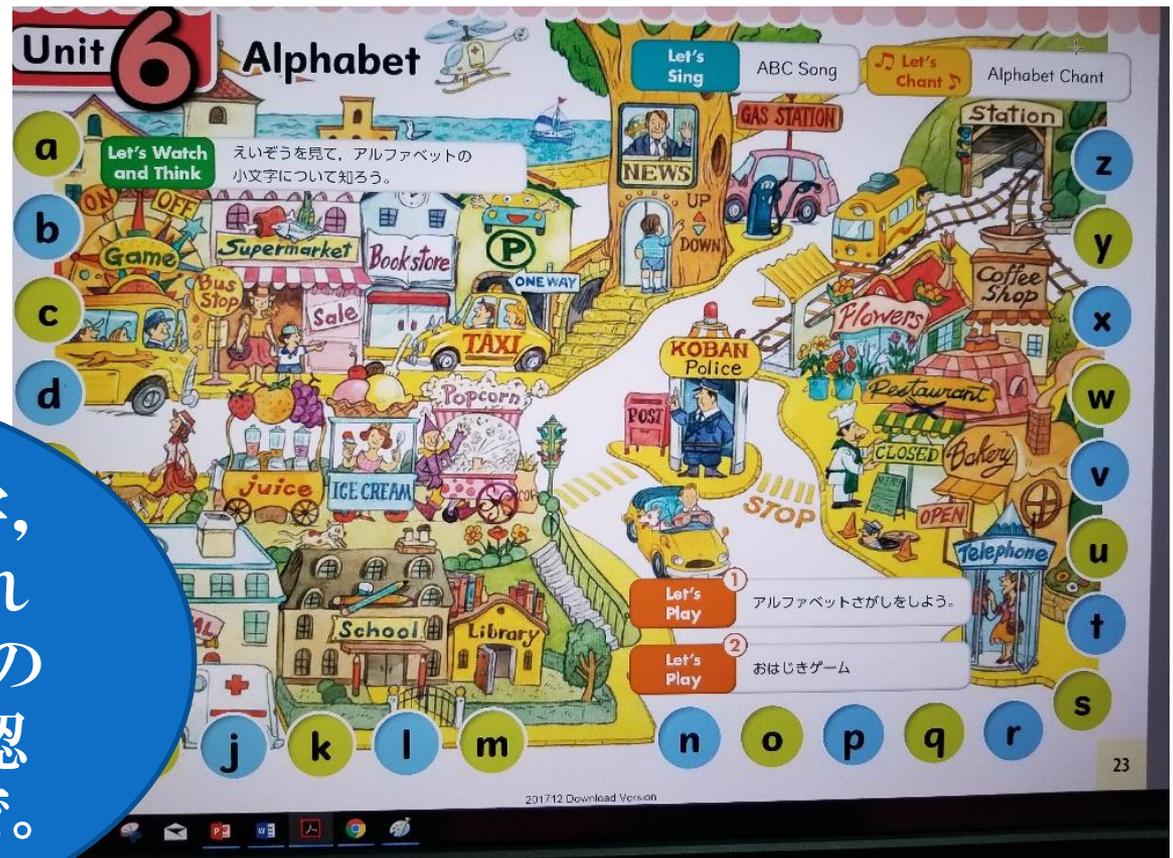
May I have ten?

Sure.

900 yen for ten pens.



ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。



3, 4年では大文字,
小文字が発音され
た時に、それがどの
文字であるかが認
識できるところまで。

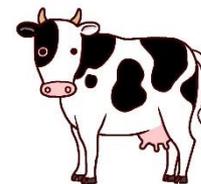
[読むこと] 5年, 6年

ア 活字体で書かれた文字を識別し, その読み方を発音することができるようにする。

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

アで示したように, 英語の文字には, 名称と音がある。児童が語句や表現の意味が分かるようになるためには, 当然のことながらその語句や表現を発音する必要があり, 文字の音の読み方は, そのための手掛かりとなる。したがって, ここで示された目標に関して指導する際には, 児童の学習の段階に応じて, 語の中で用いられる場合の文字が示す音の読み方を指導することとする。その際, 中学校で発音と綴りとを関連付けて指導することに留意し, 小学校では音声と文字とを関連付ける指導に留めることに留意する必要がある。

C cat cow



また、「語順を意識しながら」とは、文を書く際に、どのように語を並べると自分の伝えたいことが適切に伝わるかを考えることが重要であることを示している。

英語では意味の伝達において語順が重要な役割を担っており、例えば、**Sakura pushed Taku.** を、**Taku pushed Sakura.** と語の順序を替えれば、意味が大がかりに異なる。英語の文構造を理解させるために、慣れ親しんだ語句や表現を用いて例文を参考にしながら…… 語の順序を覚えて指導を行うなどの工夫も考えられる。

また、単に、語順を意識して英語を書くだけでなく、例えば、外国の姉妹校の同級生とメールや手紙で「将来の夢」について伝え合い、自分たちの夢との共通点や相違点を知ることで、多様な考え方や価値観に触れ、様々な国の人々とのコミュニケーションの意欲を高めるなど、主体的な学びにつながる学習活動を展

慣れ親しんだ語句や表現を用いて例文を参考にしながら……

外国語科（書くことの目標）

(5) 書くこと

ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

アルファベットを使うヨーロッパ14ヶ国を対象としたある国際調査では、小学校1年生に頻度の高い語の読解能力を母語で試したところ、全体の平均正答率が**87%**だったのに対し、英語を母語とする児童の正答率は、わずか**34%**であった。

(『リテラシーを育てる英語教育の創造』卯城ほか)

書く活動の具体例

山中 隆行先生の実践(2018年6月)

学年:6年生

単元名:I like my town (We Can! 2, Unit 4)

授業の展開

①文字や英文に慣れさせる段階

・Unit 4の単元末にあるStoryを毎時間指追いさせる。(声に出して指追いする)

②語順を意識しながら基本的な表現を書き写す段階

・授業のなかで聞きなれた文を書き写す。

③自分のことや身近で簡単な事柄について例文を参考に書く段階

・ワードリストを活用して、自分の地域に欲しい施設等を書かせる。

④目的・場面・状況を設定して書く段階

・校外学習を設定してパンフレットを作成する。

Unit 5

Let's Listen 1 夏休みの思い出について聞いて、登場人物と思い出を線で結ぼう。

fireworks Kosei camping

Let's Listen 2 登場人物が夏休みにどんなことをしたのかを聞いて、線で結ぼう。

Saki Satoshi

Let's Watch and Think ひとことなどを書こう。

Mark

●行ったところ
●したこと
●その他

36 37

聞く活動が満載！場面をしっかり示して！
リスニングテストにならないようにしよう！

未習単語もいっぱい・・・
推測，概要がカギ・・・
いちいち訳しない・・・
聞く，話す，考える活動！

【Let's Listen】★
英語の音声を聞いて、その概要を捉えたり必要な情報を聞き取ったり、質問に答えたりする。

聞くこと、話すことの
言語活動

<児童が聞く英語の例>
Hello, everyone! I'm Mark.
I'm in America. We have a long summer vacation from June to August. I went to the mountains this summer vacation. It was beautiful. I enjoyed camping. It was fun. I ate a hot dog. It was delicious.

【Let's Watch and Think】
映像を見ながら英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり話の概要を捉えたりする。また、聞き取った内容に関する質問に答える。

聞くこと、話すことの
言語活動

★短時間学習で扱うことも可能

【Let's Play】★

英語の音声を繰り返し聞いたり言ったりして、段階的に使えるようにする。

聞くこと、話すことの
言語活動

【Let's Chant】★

設定された表現について、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。ほかに、【Let's Sing】もある。

聞くこと、話すことの
言語活動

小学校では場面の中で理解させる

これまでは(中学校の)指導では、場面と切り離されていたので説明しないとわからなかった。

I went to the sea.

目的、場面、状況を踏まえた言語活動をとおして...

夏休み明けの授業で、夏休みを題材に取り上げ、行ったところや食べたもの、楽しかったことなどを伝え合う中で、過去形の表現を扱う。

過去形を含む
基本的な表現を活用

<児童の発話例>

I went to the sea.

I saw starfish. It was fun



Unit 5 My Summer Vacation

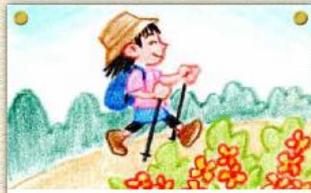
OUR SUMMER



mountain



sea



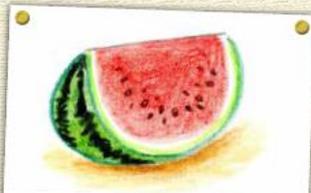
hiking



swimming



ice cream



watermelon

Let's Play

Pointing Game

Let's Chant

Summer Vacation



amusement park



grandparents' place



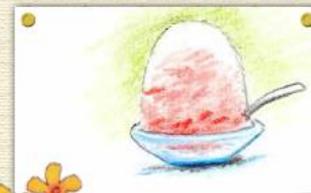
fishing



shopping



curry and rice



shaved ice

Unit 5

Let's Watch and Think 映像を見て、登場人物が夏休みにしたことなどを表に書こう。

名前			
	Mark	Emma	Kosei

Let's Read and Watch 夏休みの日記を読み、映像を見て、内容を確認しよう。また、その内容に合う絵を選ぼう。

My Summer Vacation
Date: August 12th.

I went to the sea.
I enjoyed swimming.
I ate fresh fish.
It was fun.

A  

B  

Let's Watch and Think 映像を見て、登場人物が夏休みにしたことなどを表に書こう。

名前  John

38  39

「音声で慣れ親しんだ」英語を読む。

新教材は文字に少しずつ慣れていくように工夫している。

【Let's Read and Watch】
これまでに聞いたり言ったりして音声で十分に慣れ親しんだ表現が書かれたものを読んで、その内容を捉える。

読むことに関する言語活動

動名詞を含む基本的な表現を活用

少しずつ積み上げるつもりで...

(Sounds and Letters) r: rice, river
ページ下部に、活字体の小文字とその文字で始まったり、含んだりする語のイラストを掲載している(a~z)。それぞれ文字の音と、その音から始まる英語に慣れ親しむ。

日本語と英語の音声の違い

【Activity】

本単元で学習した表現や既習の表現などを使って、友達と自分の思いや考えを伝え合ってコミュニケーションする。

聞くこと、話すことの
言語活動

<児童の発話例>

A : I went to the department store. I enjoyed shopping. I ate ice cream. It was delicious.

B : I went to the mountains. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.

ストーリーを楽しむ
文字に慣れ親しませる
やり取りをする

【STORY TIME】

英語の自然な音声を繰り返し聞き、その意味を絵を手掛かりに推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりする。また、同じ韻を踏む単語を続けて聞くことで、文字と発音の関係に気付く。

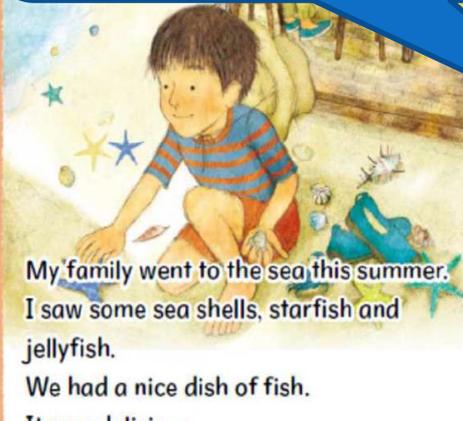
文字や単語などの認識

読むことに慣れ親しむ

Activity 夏休みの思い出を伝え合い、来年の夏休みにいっしょに過ごしたいと思う友だちを増やそう。



Let's Read and Write 夏休みの思い出を紹介する文を書いてみよう。



My family went to the sea this summer.
I saw some sea shells, starfish and jellyfish.
We had a nice dish of fish.
It was delicious.
A delicious dish of fish.

読むこと、書くこと
の言語活動

【Let's Read and Write】

ワークシートに、語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、友達が書いた文を読んだりする。

対話による深い学び(教師対児童)

S: Winter is my birthday.

T: Oh, your birthday is in winter.

S: Yes, my birthday is in winter.

L2 習得には言語特徴に気づくことが必要不可欠だという「**気づき仮説**」学習者の気づきは、**L2 習得を促進する重要な認知過程**である。
Schmidt (1990)

リキャストに含まれる目標言語のモデルは、学習者の誤用の直後に与えられることから、学習者が自分の**中間言語と目標言語との間のギャップ**に**気づく可能性が高い**。また、リキャストは、学習者の発話の意味に即した目標言語の形式を提供するため、**意味と形式の結びつきを促しやすい**。**習得を促進するのに効果的**。Long (1996)

対話による深い学び(児童対児童)

- 児童A: What color is it?
- 児童B: It's brown.
- 児童A: **No, it's not brown. It's light brown.**
- 児童B: Oh, is it light brown? OK.

対話による深い学び(児童対児童)

- 児童A: Brush?
- 児童B: No.
- 児童A: Hint, please.
- 児童B: Picture, picture...
- 児童A: Ah...
- 児童B: Paint...
- 児童A: Paint brush!